



## 〇〇からの卒業 ～未来の自分へ～

2年生(73名)、1年生(85名)の皆さん、それぞれの学年の修了おめでとうございます。

3月12日、温かくも厳肅な雰囲気の中で卒業式が行われました。全校生が1階席に集うのは5年ぶりでした。在校生を代表して「送辞」を述べた釘本さん(2年生)は、それぞれの道へ進もうとする卒業生に向けて、次のように語りました。



これからの人生で、大きな壁にぶつかり、一人で悩みを抱え込む日があるかもしれません。そんな時は、豊中中学校で歩んだ日々と、共に3年間を走り抜けた仲間を思い出して下さい。

必死に夢を追いかけたあの日も、友と語り合いけんかをしたあの日も、うまくいかずに泣いたり怒ったりしたあの日も、すべて己に打ち勝つ強さになっているはずです。 (在校生総代「送辞」より一部抜粋)

その後、卒業生代表の糸川さんが「答辞」を述べました。先生、家族、仲間…支えてくださった方々に感謝を伝え、在校生に向けて次のように語りました。

在校生のみなさん。中学校の3年間は、あっという間です。でも、3年間で築き上げた友情や努力してきたことは、これからの人生をより豊かにしてくれるでしょう。自分を信じ、みんなを信じ未来への可能性を広げていってください。 (卒業生総代「答辞」より一部抜粋)



卒業生の立派な姿に、1年後、2年後の在校生の姿が重なります。

“卒業”という言葉には、「アイドルを卒業した」「もうゲームは卒業した」のように、“ある段階を体験して通り過ぎること”という意味があります。学年が上がるこの時期に、何から卒業し、どんな一歩を踏み出しますか。未来の自分に向かって……。

- (ヒント)
- ・朝、親に起こしてもらっている自分から卒業する。
  - ・食後に、親に片付けてもらっている自分から卒業する。
  - ・「いつも〇〇してもらっている私」から卒業し、「周りに〇〇してあげられる私」へ。

## お世話になりました。

このたびの人事異動により、  
●名の職員が転退職いたします。  
在任中は、大変お世話になりました。

今後ますますのご活躍とご健勝を、  
心よりお祈りいたします。

### ●令和5年度末の異動により転退職する職員●

(名簿は紙媒体で配布します。)